

学 会 記 事

◎第2回理事会(39.7.24)出席者:福田、山内正副会長、羽田専務理事、板倉、江口、春日屋、柏谷、近藤、鳴、鏡、樋浦、前沢、松尾、安宅、渡辺の各理事および武内監事。議事録署名理事に福田会長、羽田専務理事、春日屋理事。

A. 報告事項: つぎの各項について羽田専務理事から説明、福田会長の補足説明があり了承した: 1) 会計報告。2) 刊行物頒布状況。3) 各種委員会。4) その他: ①新潟震災調査委員会について、②福田会長新潟地震の現地視察について。

B. 協議事項: 1) 理事・監事候補者推薦制度担当理事の決定について種々検討した結果支部幹事長会議で各支部の意向を聞いたうえで次回理事会で検討する。2) 支部幹事長会議開催について。3) 水理委員会の小委員会として水文学小委員会設置について水理委員会井口委員より提案があり協議の結果可決。4) 日本鋼構造協会(仮称)設立について羽田専務理事、福田会長より説明があり、他学会の様子を見ながら協賛することに了承。5) 東洋レーベン科学技術等の推薦方法。6) 支部長の委嘱。

東北支部長 佐藤 史 建設省東北地建局長
前 金子収事 前

7) つぎのとおり委員の委嘱を行なった。

①土木書庫運営委員会
委員兼幹事増員 藤井治芳 建設省土木研究所千葉支所
〃 石原研而 東京大学工学部
〃 是枝 忍 電力中央研究所技術研究所
〃 波木 守 小野田セメント中央研究所
〃 佐藤吉彦 国鉄鉄道技術研究所

②水理委員会
細井正延 退任のため
委員木下武雄 建設省土木研究所河川部
③大学土木教育委員会
幹事増員 伯野元彦 東京大学生産技術研究所

④出版企画委員会
委員補充 久保慶三郎 東京大学生産技術研究所
〃 服部昌太郎 中央大学理工学部

⑤学術講演連絡委員会
委員増員 三笠正人 大阪市立大学工学部
〃 小坪清真 九州大学工学部

⑥岩盤力学委員会
常任委員 松原 良夫 通産省公益事業局(新任)

常任委員 川本 賢方 名古屋大学工学部(新任)
〃 中山 謙治 転勤のため
後 任 早矢仕利雄 電源開発KK

常任委員	石原 研而	東京大学工学部	所	
"	比企野昭一	中部電力KK	国立大分工業高等専門学校	
"	近藤 徹	建設省河川局		
"	山田 直明	新日本技術コンサルタント	京都大学工学部	
"	志戸本佳孝	八千代エンジニヤリングKK	東京大学工学部	
"	渡部 威	関西電力KK	KK東京鉄骨構梁製作所	
"	陶山 国男	KK応用地質調査事務所	大地 羊三	法政大学工学部
"	柴田 裕啓	電源開発KK	柏谷 逸男	日本鉄道建設公団計画部
⑦原子力関係コンクリート小委員会			河野 通之	国鉄構造物設計事務所
委員 植貝 博美	東京大学工学部		斎藤 迪孝	国鉄鉄道技術研究所
" 町田 篤彦	東京大学工学部		多田 美朝	"
" 赤塚 雄三	運輸省港湾技術研究所		宮田 善明	国鉄建設局
" 松本 嘉司	国鉄構造物設計事務所		松本 文彦	"
⑧土木振動学便覧編集小委員会			尾崎 寿	国鉄施設局
委員長 大地 羊三	法政大学工学部		幹事長 久保慶三郎	東京大学生産技術研究所
委員 久保慶三郎	東京大学生産技術研究所		幹事 伊藤 学	東京大学工学部
" 池田 康平	国鉄構造物設計事務所		" 石原 研而	東京大学工学部
" 林 聰	運輸省港湾技術研究所		" 後藤 尚男	京都大学工学部
" 後藤 尚男	京都大学工学部		" 伯野 元彦	東京大学生産技術研究所
" 中川 義徳	東京都水道局建設部		" 上前 行孝	首都高速道路公団工務部
" 福地 合一	国鉄鉄道技術研究所		" 大久保 順二	"
" 武川恵之助	清水建設KK研究所		" 宮崎 昭二	"
" 堀井健一郎	早稲田大学理工学部		" 吉田 敏	建設省土木研究所
" 小寺 重郎	八千代エンジニヤリングKK		" 栗林 栄一	"
" 宮崎 昭二	首都高速道路公団工務部		" 小寺 重郎	八千代エンジニヤリングKK
" 大久保忠良	建設省土木研究所		" 林 聰	運輸省港湾技術研究所
" 山田 善一	京都大学工学部		" 井上 平	国鉄技師長室
" 小坪 清真	九州大学工学部		" 池田 康亞	国鉄構造物設計事務所
" 堤 一	電力中央研究所技術研究所		" 池田 俊雄	"
" 伊藤 学	東京大学工学部		" 松本 嘉司	"
" 山村 和也	建設省土木研究所		" 田村 浩一	"
" 芳村 仁	北海道大学工学部		" 藤原 俊郎	国鉄鉄道技術研究所
" 佐藤 吉彦	国鉄鉄道技術研究所		" 佐藤 吉彦	"
" 日野 幹雄	電力中央研究所技術研究所		" 小林 芳正	"
⑨昭和 39 年度耐震構造設計研究委員会構成			" 江島 淳	国鉄東京鉄道管理局
委員長 岡本 肇三	東京大学生産技術研究所		" 尾坂 芳夫	国鉄構造物設計事務所
委員 沼田 政矩	早稲田大学理工学部		" 菅原 操	国鉄建設局
" 石井 靖丸	八幡製鉄KK市場部		" 藤井 浩	"
" 表 俊一郎	建設省建築研究所国際地震工学部		" 横崎 元儀	"
" 金井 清	東京大学工学部		" 烏羽 秀雄	"
" 村上 永一	建設省土木研究所		" 町田 富士夫	国鉄東京工事局
" 倉田 進	運輸省港湾技術研究所		" 金原 弘	国鉄施設局
" 白石 俊多	白石基礎工事KK		" 渡谷 祥夫	"
" 田原 保二	KK日本構造構梁研究所		" 梅原 達朗	国鉄新幹線局
" 友永 和夫	KK横河橋梁製作所		" 杉田 秀夫	日本鉄道建設公団計画部
" 那須 信治	早稲田大学理工学部		" 加藤 信夫	日本道路公団企画調査部
" 畑野 正	電力中央研究所技術研究所		" 青木 浩一	科学技術庁総合研究課
" 星埜 和	東京大学生産技術研究所		" 横山 章	日本鉄道建設公団札幌支社工事部
⑩昭和 39 年度八郎潟干拓船越水道計画施工研究委員会			幹事 出口 勝美	八郎潟干拓船越水道計画施工研究委員会
委員長 本間 仁	東京大学工学部			
委員 岸 力	北海道大学工学部			
" 久保 保	日本大学理工学部			
" 鶴田 千里	運輸省港湾技術研究所			
" 永井 庄七郎	大阪市立大学工学部			
" 細井 正延	建設省土木研究所			
" 堀川 清司	東京大学工学部			
" 溝口 裕	防衛大学校			
" 田村徳一郎	明治大学農学部			
" 星埜 和	農林省八郎潟干拓事務所			

幹事林正照 農林省農地局建設部
〃 中本誠一郎 〃
〃 中村武夫 農林省農業土木試験場
〃 山田茂喜 〃
〃 重見通 農林省八郎潟干拓事務所

幹事補佐 中村充 農林省農業土木試験場
〃 青野俊一 農林省農地局
〃 塚本元 農林省八郎潟干拓事務所

⑩ 新潟震災調査委員会

委員長 岡本舜三
主査 久保慶三郎 総論
〃 那須信治 地震
〃 最上武雄 土質、地質
〃 福岡正巳 道路
〃 河野通之 鉄道
〃 吉川秀夫 川河
〃 村上永一 橋梁
〃 篠原登美雄 港湾
〃 原田信昭 電力
〃 石橋多聞 衛生工学
〃 有賀世治 工場災害
〃 梶木又三 農業土木
〃 大沢 胖 建築
〃 勝田日出夫 通信施設

◎各種委員会

(1) 本州四国基礎に関する専門部会 第15回幹事会(39.6.15)出席者:岡本委員長、ほか13名。議事:省略。

(2) 本州四国基礎に関する専門部会 第10回施工調査幹事会(39.6.16)出席者:沼田部会長、広田副部会長、ほか21名。議事:省略。

(3) 会誌編集委員会 昭和38年度、39年度委員懇談会 および 打合会(39.6.19)出席者:八十島委員長、樋口副委員長、ほか14名。議事:1)昭和39年度会誌編集方針について。2)昭和39年度委員会運営に関する覚え書について。3)昭和39年度委員会委員各分担について。4)委員自己紹介。5)懇親会。

(4) トンネル工学委員会主査幹事会(39.6.17)出席者:加納幹事長、坂本、村山の両主査、ほか13名。議事:1)トンネル標準示方書解説完成についての今後の日程について。2)上越線清水トンネルの見学について。3)その他。

(5) 本州四国基礎に関する専門部会 第11回施工調査幹事会(39.6.18)出席者:沼田部会長、広田副部会長、ほか29名。議事:省略。

(6) 岩盤力学委員会 第11回常任委員会(39.6.19)出席者:委員および幹事28名。議事:1)前回議事録の確認。2)各分科会報告。3)トンネル工学委員会との関連について。4)ミュラー氏よりの文書について。5)岩の力学国内シンポジウムについて。6)八木沢ダムのわきだまについて(講演)。7)その他。

(7) 本州四国基礎に関する専門部会 第28回幹事会(39.6.19)出席者:沼田部会長、広田副部会長、ほか10名。議事:省略。

(8) 第77回耐震工学委員会(39.6.19)出席者:那須委員長、ほか13名。議事:1)高速道路における常時微動調査について(講演)。2)政府間会議について。3)土木振動学便覧について。4)本州四国耐震設計小委員会について。5)第7回地震工学研究発表会について。6)耐震規定(英文)改訂について。7)会誌講座による講習会について。8)出版企画委員会委員の選出。9)新潟地震の件。

(9) 50周年記念出版、建設/創造/技術、出版契約打合会(39.6.19)出席者:片山委員長、ほか3名。議事:建設/創造/技術、編集に關し、出版契約を彰国社と結ぶ必要があるのでつぎの二点を検討した。1)出版契約書。2)出版に関する覚え書。

(10) トンネル工学委員会打合会(39.6.20)出席者:加納幹事長、住友主査、ほか5名。議事:トンネル標準示方書解説編の具体的な調整を行なった。

(11) 土木図書館運営委員会幹事会(39.6.22)出席者:米元委員長、千秋幹事長、ほか8名。議事:1)国内各機関発行の資料、刊行物リストの検討について。2)国際会議論文集の追加について。

(12) 土木図書館運営委員会(39.6.22)出席者:米元委員長、千秋幹事長、ほか11名。議事:1)分科会設置に件。2)委員兼幹事追加について。

(13) 土木振動学便覧編集小委員会打合会(39.6.22)出席者:関係者10名。議事:1)経過報告。2)小委員会構成および項目について。3)委員長の選任。4)小委員会の運営方針。5)その他。

(14) 本州四国上部構造に関する専門部会 第21回幹事会(39.6.23)出席者:福田委員長、ほか21名。議事:省略。

(15) 大学土木教育委員会 第12回幹事会(39.6.23)出席者:米屋委員長、嶋幹事長、ほか7名。議事:1)前回議事録の確認。2)堀委員の意見開陳。3)39年度事業計画について。

(16) 本州四国 第16回耐風設計小委員会(39.6.24)出席者:平井委員長、ほか30名。議事:省略。

(17) 海外連絡委員会打合会(39.6.25)出席者:徳善委員長、高橋幹事長。議事:1)昭和39年度委員構成の件。2)英文年報64年版進歩状況。3)幹事会開催の件。

(18) 水理委員会幹事会(39.6.25)出席者:石原委員長、ほか12名。議事:

1)水理学夏期研修会の件。2)水理講演会の件。3)ユネスコ水文10年計画の件。

(19) 岩盤力学委員会(39.6.26)出席者:増田主査、ほか5名。議事:1)39年度の運営方法について。2)構成について。3)リスト作製の分担について。

(20) 出版企画委員会(39.6.26)出席者:森、荒井新旧委員長、春日屋副委員長、嶋幹事長、ほか22名。議事:1)報告事項;④38年度第4回出版企画委員会報告、⑤39年度出版企画委員会の構成について、⑥38年度出版関係収支決算について、⑦39年度出版予定リストおよび予算について。2)協議事項;⑧出版企画委員会内規の修正について、⑨出版企画委員会の本年度活動方針および委員会運営について、⑩新規出版物について、⑪その他;新旧委員の事務引継後懇親会を行なった。

(21) トンネル工学委員会調査小委員会(39.6.27)出席者:関係者6名。議事:トンネル標準示方書解説調査編について最終的検討を行なった。

(22) トンネル工学委員会設計小委員会(39.6.27)出席者:坂本主査、ほか8名。議事:トンネル標準示方書設計編について最終的検討を行なった。

(23) トンネル工学委員会施工小委員会(39.6.27)出席者:住友主査、ほか3名。議事:トンネル標準示方書施工編について最終的検討を行なった。

(24) 本州四国耐震設計小委員会第16回幹事会(39.6.29)出席者:関係者16名。議事:省略。

(25) 第1回原子力関係コンクリート小委員会(39.6.29)出席者:国分委員長、ほか14名。議事:1)本年受託までの経過報告。2)本年の研究内容について。3)昨年度の成果報告書について。4)模型設計分科会の設置について。

(26) 会誌編集委員会(39.6.30)出席者:八十島委員長、樋口副委員長、ほか25名。議事:1)投稿依頼原稿の審査経過報告。2)第49巻第8号編集内容報告。3)長文原稿取扱いの検討。4)委員自己紹介。5)その他。

(27) トンネル工学委員会施工小委員会主査幹事会(39.6.30)出席者:住友主査、ほか2名。議事:トンネル標準示方書施工編につき手直しを行なった。

(28) 新潟震災調査打合会(39.6.30)出席者:関係者20名。議事:1)経過報告。2)委員会の名称および構成。3)委員会の運営方針。4)出版経過。

(29) 文献調査委員会(39.7.1)出席者:高橋委員長、ほか19名。議事:1)

49巻9号登載抄録について。2)解説記事について。3)カード担当雑誌について。4)海工特集について。5)外国図書出版目録紹介について。6)その他。

(30) 大正以降日本土木史 地方鉄道軌道部門分科会 (39.7.1) 出席者：関係者5名。議事：大正以降日本土木史の地方鉄道、軌道部門の執筆について、つぎの事柄を話し合った。1)資料収集状況。2)編集方針；④各節編集方法についての意見、⑤各節間の内容調整、⑥主要文献の再録省略の方法について。3)年表作成について。4)各節あてのページ割について。5)執筆要項。6)今後の進行予定。

(31) トンネル工学委員会主査幹事会 (39.7.2) 出席者：加納幹事長、坂本、村山の両主査、ほか9名。議事：1)トンネル標準示方書解説の全体的な調整を行なった。2)今後のトンネル工学委員会の運営について。3)その他。

(32) 会誌編集小委員会 (39.7.3) 出席者：八十島委員長、ほか7名。議事：1)第49巻第9号編集について。2)新刊紹介について。3)学生欄担当委員として茨木委員(中大)を決めた。4)実用講座として第1案「シールド」を決定した。

(33) トンネル工学委員会 (39.7.3) 出席者：藤井委員長、ほか19名。議事：1)トンネル標準示方書本文および解説作成経過報告。2)解説につき各担当主査、幹事より概要説明。3)決算中間報告。4)今後の課題について。5)その他。

(34) 土木図書館運営委員会 分類整理方式審議分科会 (39.7.3) 出席者：米元委員長、久野主査、ほか3名。議事：図書の分類方式について。

(35) 土木図書館運営委員会 運営事務方式審議分科会 (39.7.4) 出席者：米元委員長、長山主査、堀井幹事。議事：図書館収容能力、目録カード、公開方式、運営規則などについて協議、あと1回で大綱を決定し委員会にはかることとした。

(36) 本州四国第8回上部構造に関する専門部会 (39.7.7) 出席者：関係者31名。議事：省略。

(37) 土木図書館運営委員会幹事会 (39.7.7) 出席者：米元委員長、千秋幹事長、ほか9名。議事：1)国際会議論文集リストの拡充。2)国内雑誌の整理について。3)洋書単行本の収集について。

(38) 本州四国基礎に関する専門部会 第29回幹事会 (39.7.8) 出席者：広田副会長、ほか12名。議事：省略。

(39) 耐震構造設計研究委員会 第1回幹事会打合会 (39.7.10) 出席者：久保幹事長、ほか14名。議事：1)経過報告。2)

委員会構成について。3)昭和39年度研究計画について。

(40) 岩盤力学委員会第4分科会 (39.7.10) 出席者：林、比企野(代堀口)の各委員。議事：1)文献集について。2)耐荷力算定方法について。

(41) 第1回土木振動学便覧編集小委員会 (39.7.10) 出席者：大地委員長、ほか15名。議事：1)委員長挨拶。2)経過報告。3)運営方針について。4)便覧の目次、内容について。

(42) 大学土木教育委員会第13回幹事会 (39.7.10) 出席者：米屋委員長、嶋幹事長、ほか9名。議事：昭和39年度事業計画についてつぎの小委員会担当委員長ならびに幹事より、それぞれ調査の具体的説明の後検討を行なった。

1)文献収集とシンポジウム
米屋委員長 佐藤(吉)幹事担当

2)講座講成と学生数の変遷
丹羽幹事

3)大学院の役割
嶋幹事長、伯野幹事担当

4)土木技術者の活動状況調査
増岡、横山幹事担当

5)大学教育に関する意見調査
堺、林幹事担当

6)求人側の大学教育に対する希望
高野、久武幹事担当

(43) 岩盤力学委員会第1分科会 (39.7.10) 出席者：井上主査、ほか3名。議事：カコウ岩のマザの力学的性質について。

(44) 50周年記念事業行事委員会第1部会 (39.7.16) 出席者：田中行事委員長、岡本部会長、羽田専務理事、ほか3名。議事：記念講演会のテーマ、講師、時間割、その他について。

(45) 土木図書館運営委員会 運営事務審議分科会 (39.7.16) 出席者：米元委員長、長山主査、堀井幹事、羽田専務理事。議事：1)前回分科会協議事項の確認。2)書籍の収集および収容計画について。3)図書館運営の細目案について。4)施設およびサービス計画について；一応今回で分科会の審議を終り、結果を委員会に報告することになった。

(46) 出版企画委員会幹事会 (39.7.17) 出席者：森委員長、春日屋副委員長、嶋幹事長、ほか5名。議事：1)第1回委員会報告。2)出版企画委員会内規の審議および委員会関係委員の確認。3)本年度活動方針および委員会の運営について；④出版費の制定について、⑤常置委員会との連絡、について具体的に話し合った結果出版費については学会の企画担当理事

に申し入れる。4)新規出版物について；⑥大島セミナー ダム工事報告書、⑦学会誌、講座、爆破の出版について、⑧川俣ダムの工事報告書、⑨新潟地震調査報告書、⑩土木工学学術文献カードの印刷について、⑪その他の企画について、の個々について具体的に話し合った。

(47) 新潟震災調査委員会主査打合会 (39.7.20) 出席者：岡本委員長、羽田専務理事、ほか13名。議事：1)経過報告。2)委員会構成について。3)各項目における構想について。4)委員会の運営方針について。5)その他。

(48) 会誌10月号特集打合会 (39.7.20) 出席者：八十島委員長、樋口副委員長、ほか3名。議事：1)49巻10月号特集の内容検討。2)49巻10月号特集のうち座談会の出席者および期日発言内容の検討。3)その他。

(49) 50周年記念出版土木技術発展のあゆみ幹事会 (39.7.20) 出席者：沼田委員長、ほか19名。議事：1)作業進行予定について。2)一般協議事項；人名敬称年号、外国名などの記述の仕方、年表、参考文献題目、各部門ページ数、各委員の記入方法などについて検討。3)監修委員よりの意見について；各監修委員より各部門に対する意見を聞く。4)鈴木幹事より了解事項を説明。

(50) 海外連絡委員会幹事会 (39.7.21) 出席者：徳善委員長、高橋幹事長、ほか5名。議事：1)委員長挨拶。2)自己紹介。3)本委員会の今日までの経過説明。4)英文年報について。5)外国人の名譽会員推挙内規案作成について。6)A.Cからの入会勧誘について。7)委員会内規について。8)昭和39年度事業計画および各幹事の作業分担について。

◎その他

(1) 土木図書館起工式 (39.6.19) 出席者：福田会長、山本前会長、金子図書館建設委員長、永田総務委員長、羽田専務理事、他工事監督者、工事請負業者等関係者17名。経過：参列者は少数であったが厳粛な式典の後現場視察をして、会議室で午餐をとり懇談を行なった。

(2) 新旧理事引継懇談会 (39.6.19)
場所：東京駅ステーション ホテル
出席者：福田会長、羽田専務理事、板倉、内田、岡崎、春日屋、柏谷、齊藤、篠原、嶋、鎌、樋浦、松尾、渡部、渡辺の各理事および山本前会長、田中、岡部、三野の各前理事

議事：山本前会長挨拶；特別会員の増加もさることながら正会員の増加をしなければならないと考えたが意のごとく

ならなくて残念であった。また定款改正によって理事が増加した。その選挙方法についても暫定的に行なったが次回には理事会で検討しさるに評議員会に諮って万全を期していただきたい。

福田会長挨拶；山本前会長は 50 周年記念事業の基礎を作られたのでわれわれでしっかりとやって行ないたい。役員選挙についても十分検討して実施します、と挨拶の後、和氣あいあいの裡に懇談した。

(3) 土木系学生の会 (39.6.18) 出席者：東京大、政政大、中央大、芝工大、武蔵工大、早稲田大、東海大、都立大 19 名。議事：1) 見学会の件。2) 学校祭委員懇談会の件。3) 会の組織の件。

(4) 新潟震災打合会 (39.6.23) 出席者：岡本、那須、沼田の各氏、福田会長、羽田専務理事。議事：新潟地震の被害報告を学会で作成するための打合せを行なった。

(5) コンクリート関係打合会 (39.6.24) 場所：日本建築学会議室。出席者：国分正胤、坪井善勝、亀田泰弘、猪股俊司、田中太郎、梅村 魁、樋口芳朗、柏谷逸男、田中正巳の各氏。議事：コンクリート関係国際会議に加入するため、日本国内のコンクリート関係者をまとめた新しい機関を作ることについて打合せを行なった。

(6) コンクリート連合委員会訳語選定分科会 (39.6.20) 場所：日本建築学会議室。出席者：樋口、上原(代池田)、村田、西沢、木岡、武田、狩野、亀田の各委員。議事：1) A.C.I. Manual of

Concrete Inspection について。2) その他。

(7) 土木学会誌登載座談会「新潟地震」(仮称) (39.7.1) 場所：ダイアモンドホテル、出席者：編集委員会側：八十島委員長、樋口副委員長、渋谷、齊木両委員兼幹事、理事会側：羽田専務理事、招待者：福田会長、金井 清、岡本舞三、最上武雄、小西則良(代古賀)、伊藤直行、竹山謙三郎、高田孝信、篠原登美雄、林聰、尾崎 寿の 11 氏、議事：新潟地震に関し、司会八十島委員長を中心として活発な意見の交換があった。

(8) 土木系学生の会 (39.7.6) 出席者：法政大、中大、早大、都立大、武蔵工大、東海大、日大 10 名、議事：1) 学会誌原稿打合。2) 黒四ダム見学打合。

(9) コンクリート連合委員会訳語選定分科会 (39.7.6) 場所：土木学会議室、出席者：樋口、松本、亀田、山根、青山、狩野、高橋の各委員、議事：A.C.I. Manual of Concrete Inspection について審議した。

支部だより

◎東北支部

(1) 昭和 39 年度東北支部総会

- 1) 開会のことば 幹事長
- 2) 支部長あいさつ 金子収事
- 3) 議長選出
- 4) 議 事

① 昭和 39 年度事業報告および収支

決算報告 幹事長
② 昭和 38 年度会計監査報告 監査員 黒川弘喜

③ 昭和 38 年度事業計画および予算説明 幹事長

④ 土木学会東北支部規定改正について 幹事長

⑤ 東北支部役員改選、選出について 議長

5) 新支部長あいさつ 金子収事

6) 閉会のことば 幹事長

7) 懇親会 仙台セントラルホテル

◎関西支部

(1) 幹事交替

幹事：西村 昭(神戸大学助教授)の後任として 神戸大学教授 畑中元弘

幹事：小仲次郎(栗本鉄工所橋梁部長)

高田機工 KK 製造部長 今村 猛

(2) 第 3 回幹事会 (39.7.17, 土木学会関西支部事務局)

出席者：山崎支部長、松尾幹事長ほか 11 名

◎中国四国支部

(1) 第 1 回見学会 (39.7.15) 見学先：中国電力広島変電所(リバースサーチューリングドリル)、参加人員：32名、説明者：水野組有吉技師

(2) 第 2 回見学会 (39.7.20) 見学先：東洋工業三次高速自動車試験場、参加人員：42 名、説明者：東洋工業 工事監理事務所 山本保人、日本舗道広島支店 千葉博敏、国土開発 松井重芳

平和の祭典、東京オリンピックも来月開催の運びとなりました。公共施設の貧しい日本は、東京都が開催都市としての栄誉をになうために、国をあげて国家予算の 1/3 に当る 1 兆円という大規模な関連工事費を投じたわけです。これにともない、世界の土木技術が日本を舞台にして、一応、覇を競った形になったのも、やむをえないことかも知れませんが、この辺で、從来から呼ばれてきた国産土木技術の開発、進んで技術輸入より技術輸出への一転機としたいも

のです。

太田尾氏が「砂漠と水と油の国よりも」をはるばるお寄せ下さいました。酷熱の国にて、学会誌の依頼に答えて下さったご苦労深く感謝致します。「とても筆を取る環境でない。多少文章に変なところがあつても、そのまま登載してくれ」とのこと付記します。

次号にて実用講座「電子計算機の常識」が終ります。この講座で「シールド工法」について取り上げてくれという要望が強いので、現在準備しておりますのでご期待下さい。

編集委員会では、会員の増加にともない、皆様に親しく読んでいただけるよう、原稿の内容を適切に反映した副題を付けるようにしております。本号の「Kani 法と Cross 法」吉村氏は論文集でなく学会誌掲載を希望されています。「ラーメン解法の批判」「たわみ角分配法とモーメント分配法」などの副題が出ましたが、かえって皆様の注意をひくのではないかと原稿どおりとしました。題目、副題などについてご意見をお寄せ下さい。

【寺尾・記】

編集後記

平和の祭典、東京オリンピックも来月開催の運びとなりました。公共施設の貧しい日本は、東京都が開催都市としての栄誉をになうために、国をあげて国家予算の 1/3 に当る 1 兆円といふ大規模な関連工事費を投じたわけです。これにともない、世界の土木技術が日本を舞台にして、一応、覇を競った形になったのも、やむをえないことかも知れませんが、この辺で、從来から呼ばれてきた国産土木技術の開発、進んで技術輸入より技術輸出への一転機としたいも

昭和39年度土木学会誌編集委員

委員長	八十島 義之助		副委員長	樋口 芳朗		*印は幹事兼務	
委 員	天野 礼二 菊川 哲士 土屋 昭 湯 浅 昭	浅谷 陽治 斎木 三郎* 寺尾 英二	茨木 竜雄 渋谷 祥夫* 原田 信昭	上田 勝基 城野 忠雄 豊島 修	遠藤 篤康 高橋 裕 南部 繁春	大久保 喜市 立石 俊一 中村 正平	小坂 忠 玉木 勉 町田 富士夫
地方委員	(北海道支部) 菅原 照雄 河野 文弘	(東北支部) 三浦 晃 阿部 泰夫	(関東支部)	(中部支部) 酒井 清太郎 増田 重臣	(関西支部) 赤尾 親助 畠 中元弘	(中四支部) 門田 博知 玉井 敏一	(西部支部) 小坪 清真 長友 文昭

会員入退会について(昭和39.7.1~7.31)

入会	180名(正139 学35 特1.D 5 特2.1)
復活	3名(正)
退会	24名(正21 特1.B 1 特1.C 1 特1.D 1)
死亡	3名(正)
転格	42名 学→正40 正→学2

特 別 員 入 退 会

○入会	昭和39.7.14	特1.D	日本電信電話公社建築局 KK極東設計事務所	東京都千代田区内幸町1丁目1番地 25 東京都文京区江戸川町15番地(タトルビル)
"	"	"	実教出版KK	東京都千代田区5番町5番地
"	7.20	"	日本特殊土木工業KK営業部営業課	東京都千代田区神田美土代町6番地
"	7.21	"	十条製紙KK施設部土木建築課	東京都中央区銀座東3-4
"	7.27	"	日比谷図書館	東京都港区芝南佐久間町1-50
"	7.14	特2	三菱造船KK	東京都千代田区丸ノ内2-4
○退会	昭和39.6.1	特1.B	名古屋造船KK	名古屋市港区昭和町13
"	7.31	特1.C	富山地方鉄道KK	富山市牛島53
"	7.30	特1.D		

会員現在数

名譽	正員	学生員	賛助	特級	特1.A	特1.B	特1.C	特1.D	特2	合計	(増)
58	15 681	2 263	30	17	16	47	230	351	39	18 732	(156)

正会員	豊 住 豊 君	KK大林組東京工作所長	昭和39.1.9	死去	59才
"	小島 兼文 君	住友建設KK	"	7.1	" 62才
"	森 忠 雄 君	鹿島建設KK	"	7.6	" 25才

支部所在地

北海道支部	札幌市平岸 北海道開発局土木試験所内(電 札幌 83-4161)
東北支部	仙台市北三番丁 124 建設省東北地方建設局企画室(電 仙台 22-4191)
関東支部	東京都新宿区四谷1丁目 土木学会事業課内(電 東京 351-5138)
中部支部	名古屋市中区南外堀町6の1 名古屋市土木局道路建設課内(電 名古屋 94-5511)
関西支部	大阪市天王寺区堀越町110 天王寺ステーションビル4階(電 大阪 716-7881 内33)
中国四国支部	広島市八丁堀 122 KK水野組内(電 広島 21-5131)
西部支部	福岡市渡辺通り2丁目 九州電力KK土木部内(電 福岡 76-3031)

昭和39年9月10日印刷

昭和39年9月15日発行

土木学会誌 第49巻 第9号

印刷者	大沼 正吉	印刷所	株式会社 技報堂	東京都港区赤坂溜池5番地
口絵製版印刷者	若林 孟夫	印刷所	若林原色写真工芸社	東京都港区芝金杉川口町20番地
発行者	羽田 巍	発行所	社団法人 土木学会	東京都新宿区四谷1丁目
定価	200円(送料20円)	振替	東京 16828番	電話 (351) 5130・5138・5139番